

C F T ニュース & 息抜き（1月）

全日本コーヒー公正取引協議会（コーヒー公取協）に寄せられた問い合わせなどを、トピック形式で毎月リリースします。参考になれば幸いです。

1. 2024年12月の気になる問合せ

（1）原料原産地表示について伺いたい。コーヒー公正競争規約ではコーヒー産地は生豆生産国名の表示を求めているが沖縄県産のコーヒーは日本と記載するのか。沖縄県としてはいけないのか。

⇒ 沖縄県産コーヒー豆を使用した場合、生豆生産国名は沖縄又は沖縄県で問題ありません。「生豆生産国名：ブラジル、コロンビア、沖縄」とされて全く問題ありません。

なお、コーヒーは国の原料原産地表示制度が始まる前の1991（平成3）年よりコーヒー産地を生豆生産国名と表示しており、原料原産地表示制度発足前に「生豆生産国」と記載することについて消費者庁の理解を得ているので問題ありません。

（2）当社のドリップバッグコーヒーは委託で製造しているが、委託先の社名が変わった。加工所として委託先を一括表示欄に記載しているが、包材は半年分あり、これを廃棄しないで使用したいと考えている。どうすればよいか。

⇒ ドリップバッグコーヒーの製造委託先の社名変更とのことですので、包材は廃棄せず使用してください。消費者庁は環境負荷低減の政府の方針により、いたずらに包材を廃棄し、食品ロスの増加につながることをないよう求めています。

社名変更があっても連絡先は変わらないとのこと、衛生問題が生じても対応可能とのことですので、対応策として、①変更加工所名をシールなどで新加工所名にする、②御社ホームページなどで当該製品の加工所が

社名変更したので、新社名を告知する、③最寄り保健所に連絡し、新包材に転換するまで6か月程度、旧包材を使用する旨の了解を得ておく、などのいずれかの対応により消費者等からの連絡に対応できるようお願いします。

- (3) 当方がホテルの部屋使用で納入しているドリップバッグコーヒーについて、好評なので納入先のホテルが一般販売をしたいと言ってきている。〇〇プレミアムコーヒーと地域ネーミングしたコーヒーであるが、「〇〇プレミアム」が景品表示法上の問題にならないか懸念している。景表法上問題にならないようにするにはどうすればよいかアドバイスが欲しい。

⇒ 地域名を入れた「〇〇プレミアム」はその根拠を求められる可能性がありますので、「地域名を入れたプレミアム」は何を根拠に「地域」及び「プレミアム」を表示しているのか明らかにしておかないと、優良誤認表示とされかねません。近年、極めて僅かな量ではありますが、国内生産コーヒーをブレンドしたコーヒー製品の発売もされているようなので、誤解を受けないよう表示すべきです。

行政当局が御社の製品に対し、景表法の優良誤認表示として措置命令を発出した場合、御社やホテルはネーミングの根拠を15日以内に提出する必要があります。その対策としては「〇〇プレミアム」とした根拠を製品の包装面、販売者のホテルのホームページや製品にQRコードを付して、根拠を開示されるのが対応策と考えます。

なお、表示の責任は御社とホテルで問題が生じたときは誰が主体となるか食品表示責任者を決めておいてください。

2. コーヒーを巡るいろんな状況

明けましておめでとうございます。2025年になり四分の一世紀を過ごすこととなります。

CFT子の正月は煮物は自家製ですが、おせちはデパートの出来合い、シャンパンで乾杯、あとは日本酒、ビールと好きなアルコールを飲み、仕上げはコーヒーです。本年はボトル入りコーヒー豆をCFT子が挽き、抽出しましたが、ボトルを開けるとコーヒーの香りが部屋一面に立ち込め、抽出すると更に香りが華やぎ、家族一同うっとりとしていただきました。コーヒーの香りは人を陶醉させる効果があります。

ところで、夢のある21世紀と思っていましたが、何が起こっても判らない不安や不透明感が漂う2025年になりそうです。スウェーデンのV-dem研究所の各国の民主主義度紹介において、米国は自由民主主義国から外れており、トランプ氏の発言は権威主義国の為政者の発言かと思わざるを得ないこともあります。国の安全確保のために他国の領土を頂戴したいという発想は19世紀や第二次世界大戦時の考えのように感じます。中国やロシアの領土拡張政策に米国が加わるとは思いませんでした。

コーヒー協会の賀詞交歓会において、行政庁から食品価格の値上げをサポートするとの挨拶があり、日本の食品価格水準の正常化に目覚めたのだなと思いました。コーヒー製品の原料コーヒー国際価格は2年前の倍、為替は対ドルで30円近く下がっており、当然輸入CIF価格も上昇しています。製品価格にコストを転嫁していかないとコーヒー事業者は立ち行かなくなるし、従業員の給与は上がり、結果として安定供給に支障をきたしかねません。このような状況下にあるのはコーヒーだけでなくカカオの国際価格も高騰し、バレンタインデーにチョコレートが楽しめるのか不安になります。10年前、国際コーヒー機関（ロンドン）の理事会時のお昼に食べた鶏うどんが2500円、翌日の昼のラーメンが3000円で「高〜い」と叫びましたが、当時のロンドンは日本食以外も価格は上昇していましたがインフレという雰囲気ではありませんでした。一定程度の賃金上昇とインフレは必要悪となっていたのだらうと思います。

我が国の食料自給率は4割弱とみられています。エネルギーや肥料、牧草などの飼料を輸入してのもので、前提が平和な世界です。船による海外からの購入が困難になると、鶏、豚、牛の順に生きていけなくなり、これらを食す我々の生存も危うくなります。コーヒーはほぼ100%輸入品であり、平和を前提とする飲物です。1月20日以降世界はどうなるのでしょうか。とはいえ、ひたすら平和を祈るしか庶民にできることはありません。

(2025年1月14日記)

2025年度研修会日程

東京会場（定員：80名）

開催日時：2025年3月4日（火）13時30分～

開催場所：KKRホテル東京（11階：丹頂の間）

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1（03-3287-2921）

（注）

東京会場では消費者庁食品表示課で進めている食品表示基準等の見直し作業状況などについて、清水正雄課長に説明していただく予定です。その後、コーヒー公取協関係の説明を西野が行いますので。

名古屋会場（定員：20名）

開催日時：2025年3月6日（木）10時00分～

開催場所：名古屋ガーデンパレス（2階：桜の間）

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-11-13（052-957-1022）

大阪会場（定員：60名）

開催日時：2025年3月7日（金）13時30分～

開催場所：KKRホテル大阪（2階：星華の間）

〒540-0007 大阪府大阪市中央区馬場町2-24（06-6941-1122）

研修会参加資格は、コーヒー公取協会員社のみです。

◎ いずれの会場も開始30分前から受付を行います。